

情報を安全に活用しよう (特別の教科 道徳)

対象：中学生以上

1 主題名 情報を安全に活用しよう

内容項目 A (1)

自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。

2 ねらい

スマートフォン等を多くの人たちが所持するようになった現在、撮った写真をインターネット上に掲載したり、SNS等にアップしたりすることが非常に簡単にできるようになった。しかし、インターネットやSNSに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけでなく、意図せず加害者にもなる事例も少なくない。SNS等に載せてはいけないものがあることや、人によって嫌なことや感じ方が違うということに思いをはせて使うことが求められる。ネット上に公開することの影響の大きさにも考慮しながら、適切に判断する力をつけたい。

3 準備

資料「インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために (DVD) 3. 無断で個人情報をインターネット上に公開してしまった事例」法務省人権擁護局)

4 展開

時間	学習活動と内容	指導上、留意する点	資料など
10分		授業の趣旨説明	
	みなさんは、スマートフォンなどを使ったネットワーク上でのコミュニケーションは、うまくいっていますか。今日は、個人情報をインターネット上に公開したことによって引き起こされた事例を通して、考えあいましょう。		
			DVD視聴 (8分55秒まで)
10分		学習カード配付	
	麻里絵は、ネット上の美由の日記にお泊りのときの写真が掲載されているのを見つけました。麻里絵は無断で写真を掲載したことを抗議しますが、美由は取り合いません。その後、麻里絵は見知らぬ男に待ち伏せなどされます。この事例の発端を作ったのは、クラスメイトの俊太の軽い気持ちでの書き込みでした。「麻里絵の立場」「美由の立場」「俊太の立場」「クラスメイトの立場」の4者の立場で、もしこんな出来事が起こっていたら、どう感じるかを書き出してみましよう。		
	各自で学習カードに記入	それぞれの立場になり思ったこと学習カードに書く。	DVDの内容の確認は、教師が全部説明するのではなく、生徒たちに問いかけながら一緒に確認する。
15分	各自で考えたことをもとに、それぞれの立場でできることは何かなかったのか。このドラマではなぜできなかったのか。グループごとに考えて出し合ってみましよう。最後にどんなことを考えたのか伝え合いましよう。		
	グループごとの話し合い出たことを記入	グループの座席に変える 司会を決めるように促す	
5分	各グループの発表 気付いたことは記入	必要に応じて、どうしてそう思ったのか問い返す。	学習カードには気づきのメモと、自分の感想が書けるようにする。
10分	気付いたことや、自分の感想を記入する	学習カードにまとめさせる 時間があれば補足する	時間があれば、DVD後半の解説を視聴する。

※資料「インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために (DVD) 3. 無断で個人情報をインターネット上に公開してしまった事例」法務省人権擁護局) は、YouTube から視聴できる。